

NATSUKI KURIMOTO  
"URUSHI" works exhibition

大阪くらしの今昔館企画展

漆造形の旗手



「宙・Sora II」2020年  
(撮影 今村裕司、画像提供 現代美術舂居/Sokyo Gallery)

# 栗本夏樹の世界

2022年 4/16 (土) ~ 7/3 (日)  
(令和4年)

開館時間：10:00 ~ 17:00 (入館は16:30まで)  
休館日：毎週火曜日 (但し5月3日◎は開館)  
入館料：一般 400円 (団体 300円)

高校生・大学生 300円 (団体 200円) (要学生証提示)

\*団体は20名以上 \*8階常設展と企画展をご覧いただけます  
\*中学生以下、障がい者手帳・ミライロID等提示者(介護者1名を含む)、大阪市内在住の  
65歳以上の方は無料(要証明書提示)

\*天井改修工事の実施に伴い、9階常設展示室(江戸時代のまちなみ)および10階展望フロアは閉鎖しています

大阪市立住まいのミュージアム  
大阪くらしの今昔館 

会場：大阪くらしの今昔館 8階 企画展示室  
交通アクセス：Osaka Metro 谷町線・堺筋線、阪急電鉄  
[天神橋筋六丁目駅]③番出口から直結  
JR 天満駅より北へ 650m

〒530-0041 大阪市北区天神橋6丁目4-20 住まい情報センタービル8階  
TEL 06-6242-1170 FAX 06-6354-8601  
<https://www.osaka-angenet.jp/konjyakukan/>

# 漆造形の旗手

# 栗本夏樹の世界

天然の塗料である漆は、古くから日用品や調度、建築装飾などに多用され、その独特な美観でもって、日本の伝統的な住まいや暮らしの中に彩りを添えてきました。大阪出身の造形作家である栗本夏樹は、日本人の生活文化と密接に関わってきた漆という素材を、新たな生命を吹き込む神聖な存在と捉え、現代の生活空間を飾る様々な作品へと昇華してきました。栗本が漆を塗る対象は流木や樹皮、石などの自然物をはじめ、使用されなくなった紙管や自動車のボンネットなどの人工物にも及びます。1994年には大阪南港にあるアジア太平洋トレードセンターで行われたモニュメント制作の指名コンペティションに参加。この時に選出された“アジアの中の私”は、1996年のおおさかパブリックアート賞を受賞し、これを機にその活躍の場は公的な空間に置かれる造形物にまで広がりました。

本展では立体、平面、器物を中心とした栗本の代表的な作品を一堂に集め、過去から現在に至る表現を概観します。長い歴史の中で育まれてきた伝統的な美を継承しつつも、新たな発見に満ちた漆造形の世界をご覧ください。

<作家によるギャラリートーク>

2022年 4月23日(土)・5月28日(土)・6月25日(土)

8階企画展示室にて 14:00 から約1時間(申込不要)

\*入館チケットが必要です \*状況により人数制限をする場合があります



「莊嚴Ⅱ」2007年 (撮影 斎藤さだむ)



「風雨の果てにいまだ立てる者」1984年 (撮影 兼岡弘志)



「木の精霊」2015年 (撮影 今西 徹)



「祈る形Ⅲ」1993年 (撮影 斎藤さだむ)

「水の精霊」2015年 (撮影 今西 徹)

## <作家略歴>

- 1961 大阪に生まれる
- 1987 京都市立芸術大学大学院美術研究科修了  
日本漆工協会 奨学賞受賞
- 1993 第10回咲くやこの花賞受賞
- 1994 小清水漸・栗本夏樹展「現代の造形・かたちという」(西宮市大谷記念美術館、兵庫)  
Japanese Design展(フィラデルフィア美術館、U.S.A.)
- 1995 日本の現代工芸—伝統と前衛—展(ヴィクトリア&アルバート美術館、U.K.)
- 1996 現代美術の展望 VOCA展'96(上野の森美術館、東京)  
第2回おおさかパブリックアート賞受賞
- 1998 大阪都市環境アメニティ表彰受賞
- 2000 文化庁派遣在外研修員として英国に滞在
- 2001 VISION展(豊田市美術館、愛知)
- 2006 The International Asian Art Fair 2006(アーモリーホール、ニューヨーク、U.S.A.)
- 2009 SOFA CHICAGO(Navy Pier Festival Hall、シカゴ、U.S.A.)  
SOFA NEW YORK(アーモリーホール、ニューヨーク、U.S.A.)
- 2011 PLAY/PRAY あそぶ美術、おもう美術(豊田市美術館、愛知)
- 2016 Asian Lacquer Art Exhibition(ベトナム国立美術博物館、ハノイ)  
革新の工芸“伝統と前衛”、そして現代(東京国立近代美術館工芸館)
- 2017 HARD BODIES(ミネアポリス美術館、U.S.A.)
- 2018 CONTEMPORARY LACQUER FROM JAPAN(ESH Gallery、ミラノ、Italy)
- 2019 東京国立近代美術館工芸館名品展—漆・木・竹工芸のみかた—(石川県立美術館)
- 2020 コレクションルーム夏期(京都市京セラ美術館)  
ひろがる美術館ヒストリー(西宮市大谷記念美術館、兵庫)
- 現在 京都市立芸術大学美術学部漆工研究室 教授

## <パブリックコレクション>

- |                 |           |             |
|-----------------|-----------|-------------|
| ヴィクトリア&アルバート美術館 | 豊田市美術館    | 福建省拓福美術館    |
| ボストン美術館         | ミネアポリス美術館 | フィラデルフィア美術館 |
| 東京国立近代美術館       | 大分県立美術館   | 西宮市大谷記念美術館  |
| 京都市立芸術大学芸術資料館   | 京都市京セラ美術館 | 京都府         |

大阪市立住まいのミュージアム

大阪くらしの今昔館

〒530-0041 大阪市北区天神橋6丁目4-20 住まい情報センタービル8階

TEL 06-6242-1170 FAX 06-6354-8601 <https://www.osaka-angenet.jp/konjyakukan/>

Osaka Metro 谷町線・堺筋線、阪急電鉄「天神橋筋六丁目駅」◎番出口から直結/JR天満駅より北へ650m